



6月号

令和3年5月25日
横浜市立 星川 小学校
校長 羽山 悟
TEL.332-2101 FAX.331-5052



WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hoshikawa/>



『学びのスタンダードが変わる ICT 時代』

校長 羽山 悟

五月晴れの中、爽やかな風が、時折教室の窓から入ってきています。校舎周辺の木々の若葉が日増しにその緑色を濃くし、花壇には子どもたちが大切に育てている野菜が大きく育ち始めています。ふと校舎裏の足元を見てみると、ドクダミが真っ白な十文字の花を咲かせています。すべての自然が最も成長し輝きを増していく季節です。4月に入学、進級した星の子たちもまた、それぞれのクラス、活動で個性を輝き始めさせています。



学校では、令和の学びのスタンダード（標準的な姿）とも呼ばれる一人1台タブレット端末で学べる環境へと進むために、昨年度から準備を進めています。文科省や市の「GIGAスクール構想」にともなって、ICT環境を整備しているところです。保護者の方々には様々な承諾書、アンケートなど、ロイロノート等を利用しながら提出していただいています。子どもたちは、現在できる範囲のパソコン、タブレットを利用した授業の展開を行い、教職員は日々リモート等で様々な研修をし、来るべき ICT 時代に備えているところです。



今後、授業においては、児童それぞれが理解した内容をまとめたり、感想を入力したりした後、同時に班員みんなで同じ画面で共有し、それをクラス全体で見ながら発表して学習を深めたりする協働作業、協働学習が実現可能になります。また、本の紹介等をする授業などでも、見ている子ども達からアドバイスをもらいながら作業を進め、プレゼンテーション能力を高めることに繋げることが可能になります。

将来的には、学校や家庭で各々が学習した内容を積み重ね、学習進度、達成度、得意苦手分野を可視化できるようになると思います。それぞれのデータの最適化を図ることによって、教師と共に学習支援ソフトを使用しながら学習効果をあげる手段にもなると思われます。今後の学校教育も様々な変化と共に、その可能性を大きく広げられることができると期待しています。